

松山幸孝：小脳失調，シェーグレン症候群を伴ったインスリノーマの1例。日本糖尿病学会昭和58年度東海・北陸合同地方会，1983，11，名古屋。

24) 松山幸孝，嶋田 豊，三瀧忠道，今田屋 章，土佐寛順，寺沢捷年：Sick Sinus Syndromeを伴った脊髄小脳変性症。日本内科学会昭和58年度東海北陸合同地方会，1983，11，名古屋。

25) 嶋田 豊，寺沢捷年，今田屋 章，三瀧忠道，松山幸孝，鳥居塚和生：高 macro CPK 血症を呈した皮膚筋炎の1例。日本内科学会昭和58年度東海北陸合同地方会，1983，11，名古屋。

26) 新谷卓弘，今田屋 章，寺沢捷年：骨軟化症の1例。第5回北陸 Ca 代謝談話会，1983，11，金沢。

27) 寺沢捷年，土佐寛順，新谷卓弘：苓桂甘藶湯について。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

28) 今田屋 章，土佐寛順，寺沢捷年：白通湯が奏効した一症例。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

29) 土佐寛順，坂東みゆ紀，三瀧忠道，寺沢捷年：舌苔と胃内視鏡所見。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

30) 三瀧忠道，嶋田 豊，松田治己，寺沢捷年：気管支喘息に対する木防己湯の経験。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

31) 松山幸孝，今田屋 章，土佐寛順，寺沢捷年：非定型性顔面痛に対する和漢薬治療。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

32) 新谷卓弘，三瀧忠道，寺沢捷年：芍薬甘草附子湯が奏効したと考えられる Meige 症候群の1例。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

33) 坂東みゆ紀，松山幸孝，寺沢捷年，鳥居塚和生，本間精一：瘀血病態とトロンボエラストグラム。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

34) 鳥居塚和生，本間精一，寺沢捷年，坂東みゆ紀：瘀血病態における Fibrinogen Heterogeneity に関する研究(第2報)。第9回日本東洋医学会北陸支部学術報告会，1983，11，金沢。

35) 渡辺裕司，萩原昌樹，松山幸孝，寺沢捷年，渡辺和夫：桂アルデヒドの中樞作用。第61回薬学会北陸地方会，1983，11，金沢。

36) 萩田善一，堀越葉子，井上恭一，佐々木 博：組織内 SOD の電気泳動的解析法。第20回日本臨床代謝学会総会，1983，2，東京。

37) 井上恭一，康山俊学，古谷田裕久，佐々木 博，堀越葉子，萩田善一：肝疾患における肝組織内 SOD の電気泳動的解析。第20回日本臨床代謝学会総会，1983，2，東京。

## 検 査 部

教 授 桜 川 信 男  
助 手 近 藤 信 一

### ◆ 著 書

1) 桜川信男：プロトロンビンおよびその他の凝固因子。「血液凝固・止血と血栓 下」福武博勝他編，265-279，367-380，宇宙堂八木書店，1983。

2) 桜川信男，近藤信一他：アンチトロンビンⅢ異常症—“Toyama”と Heparin。「立山シンポジウムⅡ 凝固・線溶・血小板研究—基礎と臨床」桜川信男他編，125-130，宇宙堂八木書店，1983。

3) 桜川信男他：和漢薬の血液凝固学的研究：新しい凝固異常は正剤を求めて。「立山シンポジウムⅡ 凝固・線溶・血小板研究—基礎と臨床」桜川信男他編，193-198，宇宙堂八木書店，1983。

4) 桜川信男，近藤信一：アンチトロンビンⅢ濃縮製剤の先天性アンチトロンビンⅢ異常症および後天性アンチトロンビンⅢ減少症における凝固異常は正効果について。厚生省血液研究事業 昭和57年度研究報告集 194-196，1983。

### ◆ 原 著

1) 桜川信男，近藤信一，湯浅和典：和漢薬の血液凝固系へ及ぼす影響。新潟医学会雑誌 97：23-27，1983。

2) 桜川信男，湯浅和典，近藤信一，飯田博行，小出武比古：人工透析における血液凝固系の変動。新潟医学会雑誌 97：40-45，1983。

3) 桜川信男，浦留美子：真空採血管の凝血系に及ぼす影響。最新医学 38：549-553，1983。

4) 桜川信男，湯浅和典，高橋 薫，近藤信一，丹羽正弘，宮田好美，横田 力：和漢薬（特に止血薬および腎疾患治療剤）の凝血学的検討。最新医学 38：1184-1188，1983。

5) 桜川信男，湯浅和典，近藤信一，丹羽正弘：和漢生薬の血液凝固学的研究：特に艾葉と山梔子について。最新医学 38：1889-1893，1983。

6) 桜川信男：和漢薬の血液凝固学的検討。漢方医学 17：18-23，1983。

7) 桜川信男，高橋 薫：デキストラン硫酸および塩酸ジラゼップの凝血系に及ぼす影響。最新医学

38 : 2506-2509, 1983.

8) 桜川信男, 高橋 薫, 近藤信一, 小出武比古 : 先天性異常アンチトロンビンⅢ. *Biomed. Sci.* **4** : 133-144, 1983.

9) 新井弘之, 尾崎建二郎, 宮川照夫, 小川 宏, 関根 等, 桜川信男 : ヒト脳組織の凝血学的検討. *最新医学* **38** : 374-376, 1983.

10) 新井弘之, 尾崎建二郎, 宮川照夫, 小川 宏, 関根 等, 桜川信男 : 急性期脳血管障害患者におけるアンチトロンビンⅢの意義. *医学のあゆみ* **125** : 1025-1028, 1983.

11) 新井弘之, 尾崎建二郎, 宮川照夫, 関根 等, 桜川信男 : アンチトロンビンⅢ測定法の検討. *新潟医学会雑誌* **97** : 262-266, 1983.

12) 新井弘之, 宮川照夫, 河野充夫, 尾崎建二郎, 関根 等, 桜川信男 : Aspirin 投与と凝血系の変動. *最新医学* **38** : 1411-1415, 1983.

13) 新井弘之, 宮川照夫, 尾崎建二郎, 関根 等, 桜川信男 : アンチトロンビンⅢの測定と臨床的意義. *最新医学* **38** : 1828-1833, 1983.

14) Sakuragawa N., Takahashi K. and Kainuma, M. : The effect of activated prothrombin complex concentrates (Autoplex) on stoppage of bleeding in hemophilia A with an inhibitor. *Acta Med. Biol. (Niigata)* **30** : 73-79, 1983.

15) Sakuragawa N., Takahashi K., Horikoshi I. and Ueno M. : Oral administration of concentrated factor VIII or IX preparation. *Acta Med. Biol. (Niigata)* **31** : 1-9, 1983.

16) Sakuragawa N., Takahashi K., Horikoshi I. and Ueno M. : Basic studies on oral and rectal administration of factor IX concentrate preparation. *Acta Haematol. Jpn.* **46** : 190-196, 1983.

17) Sakuragawa N., Takahashi K., Kondo S. and Koide T. : Antithrombin III Toyama : A hereditary abnormal antithrombin III of a patient with recurrent thrombophlebitis. *Thrombos. Res.* **31** : 305-317, 1983.

18) Arai H., Miyakawa T., Ozaki K. and Sakuragawa N. : Changes of levels of antithrombin III in patients with cerebrovascular diseases. *Thrombos. Res.* **31** : 197-202, 1983.

19) Koide T., Takahashi K., Odani S., Ono T. and Sakuragawa N. : Isolation and characterization of a hereditary abnormal antithrombin III "Antithrombin III-Toyama". *Thrombos. Res.*

**31** : 319-328, 1983.

#### ◆ 総 説

1) 桜川信男, 近藤信一 : DIC の診断. *肝胆脾* **6** : 351-355, 1983.

2) 桜川信男 : 凝固異常. *総合臨床* **32** : 1269-1278, 1983.

3) 桜川信男, 近藤信一, 丹羽正弘 : トロンビンおよびアンチトロンビンⅢの測定. *臨床検査* **27** : 843-847, 1983.

4) 桜川信男 : ベッドサイドで役に立つ検査技術 出血時間と凝固時間. *メディカルコンパニオン (新興医学出版)* **3** : 1207-1212, 1983.

#### ◆ 学会報告

1) Sakuragawa N., Yuasa K. and Kondo S. : Studies on the effects of traditional herbal drugs (Kampoh drugs) from the viewpoint of blood coagulation. The 5th International Congress on Haematology (Parts of Asia & Pacific), 1983, 1, Manila.

2) Ozaki K., Arai M. and Sakuragawa N. : Coagulation-Fibrinolysis studies on acute subarachnoid hemorrhage. The 5th International Congress on Haematology (Parts of Asia & Pacific), 1983, 1, Manila.

3) 新井弘之, 宮川照夫, 桜川信男 : 急性期閉塞性脳血管障害に対する我々の治療方針. 第8回日本脳卒中学会シンポジウム, 1983, 6, 仙台.

4) 小川 宏, 宮川照夫, 新井弘之, 桜川信男 : 心停止蘇生後, 背髄灰白質に広汎な出血性梗塞を伴った2剖検例. 第24回日本神経病理学会総会, 1983, 5, 名古屋.

5) 大門良男, 角田美鈴, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一 : MIC 2000およびオートピコアー (MR600) の基礎的検討. 第32回日本臨床衛生検査学会, 1983, 4, 岡山.

6) 桑原卓美, 川島猛志, 宝住姫代美, 丹羽正弘, 松田正毅, 近藤信一, 桜川信男, 織田島弘子 : 白血球自動分類装置 (Diff 3-50) の基礎的検討 (精度管理について その一). 第32回日本臨床衛生検査学会, 1983, 4, 岡山.

7) 宝住姫代美, 内記三郎, 大村純子, 村田みね子, 桜川信男, 中尾皖英 : 総胆汁酸測定法 (AOD 加酸素法) における NTB 量の決定. 第22回日本臨床病理学会東海・北陸支部総会, 1983, 2, 名古屋.

8) 浜 久枝, 吉田郁子, 野手良剛, 内記三郎, 桜川信男, 中野 護 : 免疫グロブリン測定法の比較. 第22回日本臨床病理学会東海・北陸支部総会, 1983,

2, 名古屋.

9) 桜川信男, 近藤信一: アンチトロンビンIII異常症 (Antithrombin III-Toyama) における血小板機能とヘパリンの影響. 第80回日本内科学会, 1983, 4, 大阪.

10) 丹羽正弘, 湯浅和典, 近藤信一, 桜川信男: 第VIII因子, HMW (FVIII: RAG) 及びLMW (FVIII: CAG) の精製の試み. 第45回日本血液学会, 1983, 4, 大阪.

11) 湯浅和典, 近藤信一, 丹羽正弘, 桜川信男: 和漢生薬の凝血学的検討(4). 第45回日本血液学会, 1983, 4, 大阪.

12) 新井弘之, 尾崎建二郎, 宮川照夫, 関根 等, 桜川信男: パゾプレシン 1-deamino-8-d-arginine vasopressin (DDAVP) の凝血系へ及ぼす影響. 第45回日本血液学会, 1983, 4, 大阪.

13) 桜川信男, 近藤信一, 湯浅和典, 丹羽正弘: 血友病治療の経口化に関する研究(2): PEG化学修飾を施した第VIII, 第IX因子製剤. 第45回日本血液学会, 1983, 4, 大阪.

14) 近藤信一, 湯浅和典, 丹羽正弘, 桜川信男: インピーダンス法による血小板凝集能の検討. 第45回日本血液学会, 1983, 4, 大阪.

15) 宮川照夫, 尾崎建二郎, 新井弘之, 小川 宏, 桜川信男: 内頸動脈閉塞症の凝血学的・神経放射線学的検討. 第45回日本血液学会, 1983, 4, 大阪.

16) 近藤信一, 桜川信男: 接触因子系をめぐる諸問題 肝腎疾患を中心として. 第45回日本血液学会シンポジウム, 1983, 4, 大阪.

17) 近藤信一, 桜川信男, 窪田芳樹, 佐々木 博: 活性化プロトロンビン複合体が著効を示した阻害物質を有する重症血友病A症例. 第31回日本輸血学会総会, 1983, 5, 奈良.

18) Koide T., Takahashi K. and Sakuragawa N.: Antithrombin III Toyama: Abnormal Anti-thrombin III Resulting from Replacement of Arginine-47 by Cysteine at the Heparin-Binding site. IX International Congress on Thrombosis and Haemostasis, 1983, 7, Stockholm.

19) Arai H., Ozaki K., Miyakawa I. and Sakuragawa N.: Studies on the Changes of Blood Coagulation after Administration of 1-Deamino-8-D-Arginine Vasopressin (DDAVP). IX International Congress on Thrombosis and Haemostasis, 1983, 7, Stockholm.

20) Sakuragawa N., Yuasa K., Kondo S. and Niwa M.: Blood Coagulation Studies on

Wakan-Yaku, Especially on Gaiyoh (Artemisia Folium) from the Viewpoint of Anti-coagulant Effects. IX International Congress on Thrombosis and Haemostasis, 1983, 7, Stockholm.

21) Sakuragawa N., Takahashi K. and Kondo S.: Platelet Aggregation in the Case with Abnormal Antithrombin III-Toyama. IX International Congress on Thrombosis and Haemostasis, 1983, 7, Stockholm.

22) Sakuragawa N., Yuasa K., Kondo S. and Niwa M.: Coagulation Studies on Wakan-Yaku (Traditional Herbal Drugs) as Hemostatics. The 15th Congress of the World Federation of Haemophilia, 1983, 7, Stockholm.

23) 川島猛志, 内記三郎, 桜川信男, 鈴木好文: マイクロコンピューターによるアミノ酸分析のデータ処理. 日本臨床検査自動化学会第15回大会, 1983, 9, 東京.

24) 島崎伊津子, 内記三郎, 村田みね子, 坂本純子, 浜 久枝, 桜川信男, 中尾皖英: 髄液蛋白におけるビュレット・レイト法の検討. 第37回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

25) 林 史朗, 内記三郎, 川島猛志, 野手良剛, 坂本純子, 村田みね子, 桜川信男, 中尾皖英: 測定機種間の精度管理法の試み (緊急分析機とルーチン分析機との精度管理) その3. 第37回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

26) 林 史朗, 内記三郎, 川島猛志, 野手良剛, 坂本純子, 村田みね子, 桜川信男, 中尾皖英: 測定機種間の精度管理法の試み (数学的解析法との比較) その4. 第37回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

27) 奥田忠行, 林 史朗, 柴 則子, 桜川信男, 数川 悟, 遠藤正臣: 健常人脳波の EEG スキャナーによる検討. 第37回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

28) 角田美鈴, 大門良男, 松田正毅, 桜川信男, 山岸高由, 小西健一: オプトヒン感受性, 生化学性状および凝集反応による肺炎球菌の同定について. 第37回北陸医学会総会, 1983, 9, 金沢.

29) 小出武比古, 小谷昌司, 小野輝夫, 高橋 薫, 近藤信一, 桜川信男: アンチトロンビンIII-Toyamaの分子異常の解析 I. 異常蛋白質の精製と性状. 第56回日本生化学学会, 1983, 9, 熊本.

30) 関根 等, 宮川照夫, 尾崎建二郎, 新井弘之, 桜川信男: 閉塞性脳血管障害における抗血小板療法. 第30回日本臨床病理学会総会, 1983, 10, 東京.

31) 丹羽正弘, 近藤信一, 桜川信男: 人工透析に

おける Histidine Rich Glycoprotein (HRG) の変動。第30回日本臨床病理学会総会，1983，10，東京。

32) 近藤信一，丹羽正弘，桜川信男：合成基質を用いた新しい第VII因子測定法の開発。第30回日本臨床病理学会総会，1983，10，東京。

33) Sakuragawa N., Takahashi K. and Kondo S.: Influence of heparin on platelet function in the cases of normal and abnormal antithrombin III. XII World Congress of Pathology, 1983, 10, Tokyo.

34) 桜川信男：アンチトロンビンIII。第34回電気泳動学会，1983，10，浜松。

35) 近藤信一，桜川信男，市田隆文，佐々木 博：食道静脈瘤塞栓術施行時にみられたトロンビン・ショックの一例。第24回日本脈管学会，1983，10，和歌山。

36) 宮川照夫，桜川信男：脳血管と血栓症。第25回日本臨床血液学会，1983，10，東京。

37) 桜川信男，近藤信一，丹羽正弘，新谷憲治，三好勇夫：von Willebrand 病患者に対する第VIII因子製剤の経口投与。第25回日本臨床血液学会，1983，10，東京。

38) 丹羽知登世，近藤信一，桜川信男：合成抗トロンビン剤 (MD-805) の抗凝固および抗線溶作用について。第25回日本臨床血液学会，1983，10，東京。

39) 近藤進一，桜川信男：Antithrombin III異常症“Toyama”のHeparin親和性に関する検討。第25回日本臨床血液学会，1983，10，東京。

40) 小川 宏，宮川照夫，新井弘之，桜川信男：心停止蘇生時の凝血学的変動に関する検討—2症例の臨床と病理—。第25回日本臨床血液学会，1983，10，東京。

41) 丹羽正弘，山岸良一，近藤信一，桜川信男：和漢薬の生化学的・酵素学的研究。第6回日本血栓・止血学会，1983，12，福岡。

42) 山岸良一，丹羽正弘，近藤信一，桜川信男：ヘパリン・コファクターIIの精製の試み。第6回日本血栓・止血学会，1983，12，福岡。

## 手 術 部

部長(併任)	伊 藤 祐 輔
助 教 授	佐藤根 敏 彦
助 手	樋 口 昭 子
助 手	佐々木 均
文部技官	中 丸 勝 人
文部技官	高 道 昭 一
文部技官	奥 野 政 一

### ◆ 原 著

1) 中丸勝人，牛島一男，樋口昭子，宮崎久義，伊藤祐輔，桂木史：発足3年余の手術部内細菌数変動。日本手術部医学会誌 4：85-88，1983。

2) 佐藤根敏彦，山下正夫，小石恵子，松木明知，尾山 力：Prader-Willi 症候群患者3症例の麻酔経験。臨床麻酔 7：316-320，1983。

3) 山崎光章，増田 明，矢作直樹，伊藤祐輔，樋口昭子：Y型人工血管置換術の麻酔（全身麻酔と硬膜外併用全身麻酔の比較）。北陸麻酔学雑誌 17：37-42，1983。

4) 杉森 隆，中西拓郎，久世照五，樋口昭子，中丸勝人：麻酔導入直後に心停止・溶血発作をきたした発作性夜間血色素尿症の1例。北陸麻酔学雑誌 17：83-92，1983。

5) 佐藤根敏彦，松井雅之，淀野美砂子，乙供通則：外傷性叉神経痛様症状を呈した脳腫瘍の1例。臨床麻酔 7：438-440，1983。

6) 伊藤祐輔，久世照五，中西拓郎，佐藤祐次，里村 敬，増田 明，田辺隆一，矢作直樹，山崎光章，八木裕一郎，杉森 隆，牧野博孝，大田良子，佐藤根敏彦，宮崎久義，樋口昭子，牛島一男：脳虚血・低酸素症時の形態学的初期変化。臨床麻酔 7：499-504，1983。

7) 樋口昭子，中西拓郎，増田 明，田辺隆一，海木玄郷，久世照五，伊藤祐輔：気管切開後の低酸素血症—長期の経過をもつ喉頭狭窄の2症例—。ICUとCCU 7：531-535，1983。

8) 松井雅之，佐藤根敏彦，小倉秀彦，竹内 泉：重症子癇患者の1治験例。ICUとCCU 7：551-555，1983。

9) 佐々木 均，朴沢二郎，福岡敬二，野沢 出，川畑武裕：鼻出血の誘因—特に気象との関係について—。耳鼻臨床 76：1413-1422，1983。

10) 牛島一男，宮崎久義，伊藤祐輔，増田 明，山本昌子：急性低酸素性低酸素症におけるラット脳